

【基本方針】

「ご本人・ご家族が安心して利用できるサービスの提供を行う」

【年間目標】

- ① 言葉遣いを徹底する
- ② また来たいショートステイを提供する
- ③ サービスの質の向上を図る
- ④ ご家族や地域のケアマネジャーとの太いパイプ作り
- ⑤ 安定した稼働を目指す

【実践計画】

- ① 言葉遣いを徹底する
 - ・ご利用者への声かけ・お話しは丁寧語で統一する
 - ・人生の先輩という気持ちを忘れず、常に相手の立場に立ち声掛けができる
 - ・職員がお互いの言葉遣いについて話し合う機会を持つために、日頃からお互いの声掛け・対応について意識していく
 - ・不適切と思った時には、その場で注意できるような環境作りをおこなっていく
 - ・ご家族やケアマネジャーの面会時、職員の言葉遣いについて率直な意見を聞く
- ② また来たいショートステイを提供する
 - ・自宅での様子や生活歴をご家族やケアマネジャーから聞き取ったことを職員間で共有し、楽しく安心して過ごせる環境作りをおこなっていく
 - ・利用期間中、施設行事や日々のレクリエーションに参加できるよう提案していく
 - ・個々の状態に合わせた食事形態を確認し、ご利用者・ご家族が満足できる食事提供をおこなう
- ③ サービスの質の向上を図る
 - ・担当ケアマネジャーが作成したケアプランを把握し、個々のニーズに応じたケアを実践する為、福祉用具や介護用品を選び、快適な環境作りに努める
 - ・入退居時の荷物チェックを徹底し、紛失及び忘れ物を防止する
 - ・職員の介護力を高め、様々なニーズの利用者に対応していく
- ④ ご家族やケアマネジャーとの太いパイプ作り
 - ・報告・連絡・相談を円滑に行い、信頼関係を築く
 - ・利用期間中に行事がある場合はご家族も一緒に参加してもらえよう声掛けする
 - ・ご家族と交流ができる送迎時は、最新の情報を収集し、職員間で共有する

- ・ご家族やケアマネジャーに利用時のご様子をきめ細やかに報告する
- ・積極的に担当者会議に参加しショートステイ利用に対する意見を各関係機関から情報収集する、参加できない時は情報提供をおこなう
- ・気軽に施設に足を運んでもらえるように、積極的にコミュニケーションを取っていく、来所時は受付事務職員も含め、気持ちのこもった対応をおこなう
- ・問い合わせには迅速に対応し、できる限りニーズに応え、信頼関係を強固にする
- ・定期的に居宅支援事業所やあんしんすこやかセンターを訪問し、ケアマネジャーとより良い関係を作る、また新規ご利用者を獲得する為、定期的に事業所に空床情報等を FAX する

⑤ 安定した稼働を目指す

- ・12床のベッドは常に空床が出ないようベッドコントロールを行う
- ・新設の施設の情報をつかみながら、定期利用者が抜けても安定した稼働が保てるよう新規受入れを積極的に行っていく
- ・LONG 利用者の入院時はショートステイ利用者でカバーしていく
- ・LONG ショート利用者を一定数確保していく